

自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 2 年 3 月 21 日

【事業所概要【事業所記入】】

事業所番号	3471503320		
法人名	有限会社クラフト・ケイ		
事業所名	グループホーム 和楽		
所在地	福山市新市町戸手803-8		
	電話番号	0847-52-7577	
自己評価作成日	令和 1 年 9 月 27 日	評価結果市町村受理日	令和 2 年 4 月 7 日

※事業所の基本情報は、介護サービス公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

【外部評価機関概要【評価機関記入】】

評価機関名	一般社団法人 みらい
所在地	広島県福山市山手町1020番地3
訪問調査日	令和 2 年 3 月 2 日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点(事業所記入)】

<p>日頃は天候の良い日には、散歩に出かけられる様に心がけている。外出が難しい方もいらっしゃるのので、月3回以上の施設行事(月1回の外出計画)、年2回(家族会、運動会)の交流会を行い、共同生活を理解してもらい利用者同士が楽しめる様にと考えている。認知力低下を防ぐために、回想法、ことわざ、雑談などの脳トレーニングを行ったり、体力低下を防ぐためには、利用者にあった運動や動けない方には、マッサージなどもさせてもらっている。他に地域行事へは出来るだけ参加をしたり、2ヶ月～3ヶ月に1回はボランティアの方に来て頂き交流も深め、親しみやすい『和楽』を目指している。</p>
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>閑静な住宅地の中に位置し、近隣には大型スーパーや商店、又、消防署も近くあり、利便性は良い。玄関に入ると御神輿が置かれ、懐かしさが感じられる。食堂には利用者と共に作成された作品が多く飾られ、家庭的な雰囲気である。ケア面に於いては、誕生日のケーキやおやつ作り等、職員と共に楽しみながら作られ、張りのある生活に繋がれていると共に会話する時間を多く持ち、個々の思いに耳を傾け、その思いに沿えるよう努め、一日一日を大切に其の人らしく過ごしてもらえる事を第一に考えられ、全職員がブレの無い支援に取り組まれている。又室内での楽しみごとを計画し、地域のボランティアや保育園児の訪問等で、一日を楽しく過ごしてもらっている。特に保育園児との触れ合いでは、笑顔が多く見られ、元気をもらっている。時には小学生との交流もあり、ゲームをして楽しいひと時を過ごしたり、プレゼントも、もらい、顔もほころび、表情の無い方もその時だけは笑顔になられ明るい雰囲気になる。又、日常的に取り組まれている事は認知機能や身体的機能維持の為、脳トレや運動を取り入れ、少しでも現状維持ができる支援に努めている。地域との関わりも行事があれば参加し、多くの方とのふれ合いを大切に地域の一員として安心、安全に生活して頂ける環境づくりに取り組まれている。管理者、職員も家族のように接しられ、温かみのある、家庭的な事業所である。</p>

自己評価および外部評価結果

作成日 2019年 9月27日

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念を額に入れ1階、2階に見えやすいところに掲げている。毎月のミーティングで理念を唱和し、グループホームのあり方を確認、助言を行い記録を取っている。日々のケアを常に意識して、申し送りノートに記入し全員が確認している。	玄関等の誰も見え易い場所に掲示し、迷いが生じた場合には見ることで振り返る機会と反省に繋がられる。又、月1回のミーティングで唱和し認識を高め、共有し実践に繋げている。個人目標も作成し、達成度の確認も行い、より良いケアに努めている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域のボランティアの方の訪問や、地域の保育所を招いたり、お祭りや、イベントなどにも、出来る範囲で出掛けている。地域の方に和楽カフェに参加してもらっている。	地域のお祭りや公民館のイベント等に参加すると共に地域のボランティア、近隣の保育所の園児の訪問等があり、楽しみと交流に繋げている。週1回周辺のゴミ拾いを行う等、地域貢献に繋げている。天気の良い日には散歩に出かけ、出会った方や近所の方と挨拶を交わし、顔見知りの関係に努めている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の方に和楽カフェに参加してもらったり、消防訓練にも参加のお願いをさせてもらっている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	年6回の運営推進会議で報告や意見交換会などを行い利用者によりよいサービスケアになるようにしている。	家族、民生委員、行政、包括職員の参加の下、現状を広範囲に報告し、参加者全員に意見や情報などを頂き、サービスに活かしている。時折、医師や言語聴覚士が参加される事もある。また、家族会と共に行う事もあり、立場の違う方の多くの意見が得られている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進委員会に(行政・地域包括など)参加して頂けるように、連絡を図っている。	疑問点や対応についての相談に行く事があり、日頃から連携を取るように努めている。運営推進会議への参加が得られている為、取り組みや実情については理解が得られている。包括とは包括主催の会議にも参加し情報を得たり意見交換等を行い、協力関係は築かれている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	夜間転倒の危険性の高い方、数人に対しご家族了承の元、センサーマットやサイドレールを使用している。夜間(18時～翌朝6時00分) 2階階段に安全確保のためフェンスをさせてもらっている。	リスクに対しては、現状を事細かく把握すると共に改善策について、ミーティングで話し合い、できるだけ、長期にならない様取り組まれている。経過観察を怠らず、日々検討し、抑圧しない支援に努めている。定期的に研修も行っている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	内部研修で高齢者虐待防止に関することを学び、言葉使いや態度など、気になる事があれば職員同士で注意し合い防止に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	認識している職員もいるが、詳しくは学んでいないので、今後も取り組んでいく。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時、重要事項説明書、契約書などにて説明し、質問や疑問点を聞き、理解納得をもらっている。退所される場合、次の行き先や不安な事などに対し助言、対応させてもらっている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見、要望など聞き記録として残し、行政への連絡先など伝え、運営に反映させている。	家族の訪問時や利用料の支払い時、また、家族会等で、個々の現状を報告する際などに把握するように努め、色んな場面での意見や要望は反映させていると共に個々にも対応している。職員にも申し送りで周知している。ホーム便りも送付し日頃の様子を把握してもらっている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月のミーティングで意見や提案を聞いている。また、日常の会話などでも意見や提案を聞いている。	日頃、気づきや提案がある場合はその都度聞く様にしていく。また、申し送りでも問いかけ、多くの意見の把握に努めている。毎月のミーティングでも聞く機会を設け、それぞれの場面での意見は反映させている。直接、運営者に相談される職員もいる。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	有資格者に対しての手当。本人の勤務努力によって年1回の昇給。定期的な親睦会など行っており、働きやすい職場にしている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	情報公表の開示で書かれている研修以外に、和楽施設合同研修会を4ヶ月に一度行ったり、内部研修を2ヶ月に一度行い、外部研修も行ける範囲で行っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同業者への訪問、及び研修生の受け入れを行っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前に本人と家族から、要望を聞き安心してもらえるように努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	相談、見学、利用に至るまで、家族が困っている事、不安に思っている事など聞き、受け止め安心して頂ける様な対応をしている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	居宅や病院などと連携をとり相談させてもらったり、緊急性の高い人を優先させてもらったり、他のサービス利用(高専賃・小規模多機能など)も含め対応させてもらっている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	野菜作り、料理方法、お餅のつき方、洗濯の干しかたなど、教えて頂いたり、出来る事は一緒にやらせてもらいながら、良い関係が築ける様になっている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族の面会時、又は電話など利用し、現状報告をし、家族の思いを聞いている。また、行事などにも参加してもらっている。家族の思いを本人にお伝えしたり、日々家族の話をしながら共に本人を支えていける関係を築いている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人の住まれていた近所の人や、お友達などの行き来が出来る様、また、思い出の場所に行ける様に努めている。ご家族の方がお墓参りに連れていかれたり、外食をされたりする方もいらっしゃる。	家族、親せき等の訪問もある。家族がお墓参りに連れていかれたり、家族と共に外食に行かれる等、また、定期的に自宅へ帰られる方もいる。希望で自宅近くまでドライブしたり、御正月には日帰りする方や馴染の美容院を利用される方もいる。馴染みの関係が少しでも長く継続できる支援を心掛けている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者同士の話や、職員が間に入り会話したり、回想法をして、できるだけ孤立しない様になっている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去されても、その後の経過を把握し、相談やアドバイスが出来るようにしている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人を中心にどのようにすることが一番いいのか、日常的に話し合ったり、家族・本人から話を聞き個性を尊重出来る様にしている。	会話の中で把握したり、また、声かけをし、思いを聞き出す事もある。また、口答で言われる方もいる。外出や買い物、食べ物等の希望が出る。できるだけ個々の思いに沿うようにしている。困難な方には家族の協力や生活歴、選択史を出しその時の表情から判断し検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族から生活歴など聞かせてもらったり、居宅のケアマネから情報を得たりし、職員で共有するようにしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個人の介護日誌に一日の行動の過ごし方、精神・身体状態など細かく記入し、現状の把握に努めている。本人の和楽での役割を決め、出来る事をしてもらっている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月行っているミーティングで話し合った事をご家族に報告し意向、要望を聞いたり、家族の面会時、又それ以外でも電話など利用し、意向・要望など聞きそれらを取り入れている。又主治医の話なども取り入れながら3カ月に1回ケアプランの見直し作成し、状態の変わらない方は6カ月に1回作成し、同意・サインをもらっている。	家族の要望、主治医の所見、ミーティングで課題やニーズについて話し合い、その中での意見等を基に担当者会議で検討し、現状に即した柔軟な計画を作成している。モニタリングや見直しは6ヶ月となっている。家族の承諾も得ている。又、担当者会議には家族や本人も参加している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護日誌(個人日誌)に記録、気になる事は、申し送りノートに書いたり、月1回のミーティングで話し合い、介護計画の見直しを行っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	その時の状況に応じて、家族と連携しながら支援している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	民生委員、ボランティア、福祉施設、教育機関、消防署などの協力も得ている。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	24時間対応の協力医療機関があるので、何かあればすぐ医師に連絡が取れる様になっている。その他の医療受診のある方はご家族との連絡を密にして、すぐに報告し受診してもらっている。	協力医療機関の往診が月2回、訪問看護師が週1回訪問し日々の健康管理をされている。また、訪問歯科支援もある。夜間、緊急時、24時間指示が得られる体制である。他科やかかりつけ医は基本家族対応となっている。結果については家族にその都度報告し、共有し安全確保に努めている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護師に相談したり、週1回訪問看護が入っているので、状態によっては受診したり、協力医療機関には気軽に相談し、指示をもらい対応している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	ご家族の方とよく相談し、安心して頂けるようサポートしている。協力医療機関と情報交換を行い、連携を図っている。協力医療機関から他病院に紹介された場合、その病院関係者とも連絡を取っている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご家族、協力医療機関と話し合い、全員で方針を共有し取り組んでいる。	利用開始時、指針を基に説明し、理解は得られている。状況変化が起きた場合は、家族、主治医等三者で再三にわたり話し合い、状況によりその都度、家族の意向を確認しながら、三者で方針を共有し看取り計画を作成され、主治医と連携を密に取りながら、家族の協力も得、チームで支援に取り組まれている。体験もしている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	マニュアルを参考に、定期的に研修を行ったり、消防訓練も年2回は行っている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	防災訓練を年1回行っている。近所にも協力を依頼している。又避難場所・経路が解る様に玄関に貼っている。	年2回(消防署指導1回、自主1回)通報、消火、避難誘導等の訓練を実施し、実践力を身につける様取り組まれている。近隣の方の参加も得られ、協力のお願もしている。また、水害訓練も行い、避難場所の確認も周知している。備蓄もしている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	その人のリズムや、ペースに合わせて尊重した対応を心掛けている。	定期的に研修を実施し、人生の先輩であり、個々の尊厳を大切にしたい声かけや対応をするよう周知されている。馴れ合いになっても節度ある支援を心掛ける様取り組み、職員間でも気づいた場合は注意し合っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	食べ物や飲み物、衣類や外出など、出来るだけ本人の意思・希望を聞き尊重している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その日その日で、入居者1人1人のペースを保つように心掛けており、さりげなくサポートしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	1人1人の好みで、髪型・服装をして頂いている。スタッフがその人の希望に合わせたカットをさせてもらっている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	野菜の下ごしらえや切ってもらったり、テーブル拭き、下膳、食器洗いなど、出来る事は手伝ってもらっている。出来るだけ職員も同じテーブルで同じ時間に食べている。	身体状況に合わせた食事形態(トロミ、キザミ、ミキサー食)となっている。食材も多く、栄養バランスに配慮され、職員も同じテーブルを囲み同じ物を会話や食材の話、世間話をしながら楽しく食べられている。下膳や御湯呑を運ばれたり、できる方には声かけし、力量発揮の場面作りをしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養バランスを考え、出来るだけ旬の食材を使ったメニューにしたり水分制限のある方には、氷を提供したり、水分を残される方には、好きな飲み物やポカリなども提供させてもらっている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	声掛けで歯磨きに行かれる方、介助にて行わせてもらっている方、うがいが出来ない方はハミグットなど使用している。イソジン液なども利用し、清潔保持をさせてもらっている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄パターンを記録し、1人1人に合った時間帯に声掛けしたり、トイレ回数の多い方にも出来るだけトイレ誘導させてもらっている。	個々の時間帯で声かけし、トイレでの排泄に努め、生活習慣、機能維持、気持ち良く排泄できる様務めている。自立の方もいる。又、排便チェックも行い、便秘がちな方には運動や繊維質の食べ物の工夫、お腹のマッサージ等をし改善に向け取り組まれ、不穏にならない様努めている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	主治医に相談し下剤を内服されたり、繊維質の物を食材に取り入れたり、体操なども行っている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入浴の希望に合わせ、2日、3日に1回の人など時間帯も希望を聞いたり、タイミングで入れる様に支援している。入浴に限らず足浴、清拭も行っている。	週2～3回、その日の状況で時間帯は決めている。順番や湯温の希望にも対応し、入浴が楽しみとなる支援を心掛けている。拒否の場合は医師や家族の協力を得ながら清潔保持に努めている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	1人1人の生活リズムを把握し、安眠に繋げている。又その日の状態や希望により、居室や囲炉裏で休んでいただく事もある。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	1人1人にお薬手帳があり、職員は受診、往診後は必ず確認し理解している。服薬は飲み込みまで確認している。何か変わった事があれば主治医に相談させてもらっている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	生活歴を把握し、その力が発揮できるように、出来る事はしていただき、気分転換など出来る様にしている。1人1人の役割を決め、出来るだけ毎日行ってもらっている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	近所であれば、外出として行く事も有るが、そうでない場合は家族にお願いする事もある。	四季の外出(桜、バラ)に行かれたり、地域行事やドライブ、2ヶ月に1回は希望で買い物にも行かれている。家族と共に外食やお墓参りに行かれる方もいる。散布も天候が良ければ出来るだけ出掛け外気に触れる機会を持たれている。桃の節句には公民館へお雛さんを見に行かれている。個別ではあるが気分転換、五感刺激、楽しみごとの支援に取り組まれている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	家族よりおこづかいを預かり、希望された物を買わせてもらっている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望があればいつでも出来るようにしている。ご家族に連絡の用事がある時には、代わって話をしてもらったりもしている。毎年、年賀状や暑中見舞いなど書いてもらい送っている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室にはレースのカーテンをし、眩しくないようにしている。花を飾ったり、音楽をかけるなど工夫をし、また床暖房を使い足元から暖め、空気を汚さない様な配慮もしている。玄関には、椅子を置いている。	玄関廊下には御神輿が置かれている。季節が感じられる装飾品もある。手作りカレンダーやパッチワーク作品等、手作り作品が多く飾られている。対面キッチンから食事準備の匂いや音が五感刺激となると共に家庭的な雰囲気のある共有の場である。不快な匂いもなく、室温にも配慮され、温かみのある共有の場である。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	同じテーブルの方と話されたり、二人位ソファに座わってテレビを見られている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	今まで使われていた布団、タンス、椅子、洋服かけ、ご家族の写真など持って来られ、居心地のよいようにされている。	テレビ、収納ケース、衣装かけ、イス等色んなものが持ち込まれている。仏壇を置かれている方もいる。又、作成されたぬり絵も飾られている。時計もあり時の認識に繋がられている。できるだけ自宅に近い環境づくりで違和感なく過ごせるよう工夫されている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレ、入浴、居室など目印になるものをしたり、バリアフリーで移動しやすいようにしている。		

V. サービスの成果に関する項目【アウトカム項目】

項目		取り組みの成果(該当するものに○印)		項目		取り組みの成果(該当するものに○印)	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる		①ほぼすべての利用者の	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています		①ほぼすべての家族と
		○	②利用者の2/3くらい			○	②家族の2/3くらい
			③利用者の1/3くらい				③家族の1/3くらい
			④ほとんど掴んでいない				④ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
			②数日に一度程度ある				②数日に1回
			③たまにある			○	③たまに
			④ほとんどない				④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼすべての利用者が	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている		①大いに増えている
			②利用者の2/3くらいが				②少しづつ増えている
			③利用者の1/3くらいが			○	③あまり増えていない
			④ほとんどない				④全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き活きた表情や姿が見られている		①ほぼすべての利用者が	66	職員は生き活きと働いている		①ほぼ全ての職員が
		○	②利用者の2/3くらいが			○	②職員の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが				③職員の1/3くらいが
			④ほとんどない				④ほとんどない
60	利用者は戸外の行きたい所へでかけている		①ほぼすべての利用者が	67	職員から見て利用者はサービスにおおむね満足していると思う		①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが			○	②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが				③利用者の1/3くらいが
		○	④ほとんどない				④ほとんどない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼすべての利用者が	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う		①ほぼ全ての家族等が
			②利用者の2/3くらいが			○	②家族等の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが				③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどない				④ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている		①ほぼすべての利用者が				
		○	②利用者の2/3くらいが				
			③利用者の1/3くらいが				
			④ほとんどない				

(別紙4(2))

事業所名: グループホーム和楽

目標達成計画

作成日 令和 2年 4月 3日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	5	身体拘束をしている所は排除できないのか、拘束でない介助、見守り方法はないか皆で考えていく。	身体拘束をしている方が排除になる様な支援ができる。	毎月のミーティング時に身体拘束の排除の取り組みについてしっかり話し合ったり、その都度スタッフ同士で相談し合う。	1年
2	9	今までの生活歴、楽しみは何かなど把握できていない方もいらっしゃるのでは、その人の思いを傾聴し、思い出に残る事ができる。又、ご家族との信頼関係がしっかりできる。	入居者やご家族の思い出に残る事が実践できる。	日常会話をしっかりする。ご家族としっかり話をする。カンファレンスや申し送り等で話し合い、楽しい事を実現できる様に関わる。	1年
3	12	看取りになった時、ご本人・ご家族の思いをしっかりと聞いてあげられているのか？主治医、ご家族、施設の連携の仕方を理解してもらう。	スタッフ同士がしっかり連携できる。	ご家族としっかり話し合う。入居者にしっかり関わる。看取りになった場合の流れ、関わり方を作成する。	1年
4					
5					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。